

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・生涯学習情報提供システムのリニューアルによる利便性や操作性の向上により、システム利用者の満足度が89%(H23)から96%(H24)に向上した。
②	・養成した指導者や開発した学習プログラムを用いた活動についての問い合わせ件数が約20%増加し、環境学習への意識の向上が図られた。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(24年度事業)	事業コスト(千円)	25年度の実施状況	主要な施策の成果掲載頁
①	おおいた学びの輪推進事業	18,175	継続	251
②	森林環境学習指導者活用事業	3,647	継続	252
	県立図書館資料整備費	94,847	継続	253

【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○平成24年度第2回大分県立図書館協議会(H25. 2)</p> <p>・県内市町村立図書館等の一般利用率が低いという現状を踏まえ、県立図書館として市町村立図書館の運営などについて連携・支援をさらに進めて欲しい。</p>	
---	--

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
B	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者ニーズを調査・分析し、ニーズに対応した情報の収集・整理を行うとともに、システムの利便性や操作性の更なる向上を図る。 ・香々地青少年の家において森林環境学習ができるよう、森林環境学習指導者による森林環境調査および学習プログラム作成を実施する。 ・大分県教育委員会ホームページ内に「森林環境学習指導者のページ」を作成し、広く県民への周知を図るとともに、幼児から高齢者まで幅広く森林環境の学習機会を提供する。 ・県内公立図書館の新館、特に大分市民図書館との役割分担等を強化するとともに、他の公立図書館等との連携を推進し、全県的な貸出冊数の増加を図る。